ヒメギフチョウ（コラム まちの貴重な文化財）

読みもの・コラム

投稿者：:

Posted on : 2022-4-15 0:00:00

広報ふらの・コラム「まちの貴重な文化財」No.10
４月号で紹介するのは桜舞う春の季節に現れる春の女神「ヒメギフチョウ」です。

FURANO CULTURAL ASSETS

10 まちの貴重な文化財

ヒメギフチョウ

桜舞う季節に現れる「春の女神」

桜が咲き始める麗らかな季節は、「春の女神」と呼ばれるヒメギフチョウが舞い飛ぶ季節でもあります。ヒメギフチョウはアゲハチョウの仲間で、春の明るい林床を彩るエゾエンゴサクやカタクリなどの早春植物を吸蜜します。オスはメスを探して盛んに飛び回り、交尾をするとやがてメスはオクエゾサイシンという植物の葉裏に、小さい真珠のような卵を産み付けます。孵化した幼虫は真っ黒な毛虫で成虫の姿からは想像もつきませんが、オクエゾサイシンの葉だけを食べて成長し、初夏には蛹となって、翌春まで石や枯葉の下で長い眠りにつきます。

国内では北海道のほか、東北地方や中部地方の主に山地に生息します。近年、本州では開発行為や二次林の放置などで生息数が減少しており、環境省の準絶滅危惧種に指定されています。北海道でも同じ轍を踏まないよう、ほんの少しでも生き物の目線も持ちながら暮らしたいですね。

問 富良野市博物館 ☎ 42 - 2407